

広陵



第23号

1994. 7. 20

神奈川県立秦野高等学校同窓会々報



同窓会々報第23号目次

表紙	題字	宮本 信義(中5)	8
スケッチ		横溝 英一(中20)	12
写真	「梶山フォトスタジオ」	梶山 敏之(高17)	14
総会のご案内	平成6年度事業計画		16
予算案・決算の報告			17
70周年PR			18
ごあいさつ	同窓会長・小泉 功		18
退任のごあいさつ	前同窓会長・高橋徳治		19
着任のごあいさつ	字 校長・実方 正		20
退職のごあいさつ	前 校長・河合洋三		21
支部だより			22
寄稿			23
秦高在職中の思い出			24
秦中・秦高に想う			25
母校からー進学カルテー			26
母校からこんにちはー男子籠球・無線・陸上・弓道ー			27
同期会だより(広四全)・同期消息(高26)			28
会費納入のお願い・終身会費納入状況			29
スケッチ解説	横溝英一		30
客員異動等			31

平成6年度秦野高校同窓会 ～ 総会の御案内～

日時：8月20日(土)

場所：平塚プレジール

農協共済ビル株式会社
平塚市八重咲町3-8
TEL. 0463 (23) 1155(代)

総会日程

P.M 1:30 受付

2:00 総会

- 5年度事業報告及び決算報告
 - 6年度事業計画及び予算審議
 - その他
- 〈アトラクション〉

落語

楽志亭 巻生 氏

総会のご案内

会長 小泉 功

平成六年度の総会は平塚プレジールで、八月二十日に開催されます。平塚地区支部の皆様への献身的な努力で開催にこぎつけました。どうか会員の皆様のご参加を、お願い申し上げます。

平成5年度 事業報告

- 4月17日(土) 会報委員会
 - 5月1日(土) 運営検討委員会
 - 5月22日(土) 指名委員会、70周年実行委員会小委員会
 - 6月17日(木) 運営検討委員会
 - 6月19日(土) 指名委員会、幹事会
 - 6月20日(日) 会報22号発行
 - 7月26日(月) 三校連絡協議会
 - 8月21日(土) 役員会
 - 8月中旬 造園整備
 - 8月29日(日) 総会
 - 10月23日(土) 役員会、実行委員会
 - 11月20日(土) 実行委員小委員会
 - 12月24日(金) 三年生保護者へ終身会費制についての趣意書配布
 - 2月19日(土) 第二回実行委員会
 - 3月1日(火) 母校卒業式 新会員入会435人
 - 3月18日(金) 役員会
 - ※上記の他、慶弔、プラスバンド部への助成などを行なう
 - 5月3月 激励費支給
 - ・県大会(三千円) 男子籠球部 15名 同一日 県予戦 15名
 - ・関東大会(五千円) 弓道部 11名 女子籠球部 1名
 - 陸上部 6名 弓道部 2名 男子籠球部 1名
 - 陸上部 12名
 - 弓道部 1名 かるた部 5名 陸上部 6名
 - 陸上部 団体1名
 - 尚、2月17日 校内1万メートルマラソン大会に賞品を贈る
- ### 平成6年度 事業計画
- 一、幹事会、総会の開催
 - 二、会報23号の発行
 - 三、会費納入の促進
 - 四、支部組織強化
 - 五、在校生活動支援
 - 六、記念造園の整備
 - 七、三校連絡協議会開催
 - 八、造林調査
 - 九、70周年記念事業の募金開始
 - 十、慶弔
 - 十一、その他

平成5年度 決算報告

平成6年度 予算案

◎ 歳入の部

項目	5年度予算額	5年度決算額	増減(減=△)
前年度繰越金	1,069,323	1,069,323	0
卒業生入会金	1,500,000	1,500,000	0
繰り入れ金	2,200,000	2,200,000	0
雑収入	120,000	205,302	85,302
合計	4,889,323	4,974,625	85,302

◎ 歳入の部

項目	6年度予算額	5年度予算額	増減(減=△)
前年度繰越金	616,481	1,069,323	△452,842
卒業生入会金	1,308,000	1,500,000	△192,000
繰り入れ金	2,900,000	2,200,000	700,000
雑収入	200,000	120,000	80,000
合計	5,024,481	4,889,323	135,158

◎ 歳出の部

項目	5年度予算額	5年度決算額	増減(超=△)
会議費	520,000	462,370	57,630
総会費	250,000	219,367	30,633
幹事会費	120,000	118,553	1,447
委員会費	150,000	124,450	25,550
事業費	3,072,000	2,920,371	111,395
支部育成費	200,000	8,300	191,700
在籍生活動振興費	600,000	512,250	87,750
プラバン助成費	100,000	100,000	0
造林調査費	40,000	30,885	9,115
森林組合賦課金	2,000	0	2,000
造園維持費	80,000	80,000	0
慶弔費	150,000	135,814	14,186
会報発行費	1,800,000	1,993,356	△193,356
70周年記念事業費	100,000	59,766	40,234
事務費	330,000	425,403	△95,403
事務局費	250,000	269,180	△19,180
通信費	60,000	112,638	△52,638
印刷費	20,000	43,585	△23,585
会館積立返済金	550,000	550,000	0
予備費	417,323	0	417,323
合計	4,889,323	4,358,144	531,179

◎ 歳出の部

項目	6年度予算額	5年度決算額	増減(減=△)
会議費	520,000	520,000	0
総会費	250,000	250,000	0
幹事会費	120,000	120,000	0
委員会費	150,000	150,000	0
事業費	3,574,000	3,072,000	502,000
支部育成費	200,000	200,000	0
在籍生活動振興費	600,000	600,000	0
プラバン助成費	100,000	100,000	0
造林調査費	40,000	40,000	0
森林組合賦課金	4,000	2,000	2,000
造園維持費	80,000	80,000	0
慶弔費	150,000	150,000	0
会報発行費	2,300,000	1,800,000	500,000
70周年記念事業費	100,000	100,000	0
事務費	650,000	330,000	320,000
事務局費	300,000	250,000	50,000
通信費	200,000	60,000	140,000
印刷費	150,000	20,000	130,000
会館積立返済金	0	550,000	△550,000
予備費	280,481	417,323	△136,842
合計	5,024,481	4,889,323	135,158

次年度へ繰越	
5年度歳入総額	4,974,625
5年度歳出総額	4,358,144
次年度へ繰越	616,481

同窓会館積立金	
5年度までの積立額	13,337,770
コンピュータ代返済	550,000
利息	497,000
残高	14,384,770

同窓会費積立金	
繰り越し金	196,314
終身会費	16,310,000
卒業生会費	1,520,000
残高	18,026,314

同窓会館積立金より
70周年事業へ貸し出し 5,500,000

終身会費納入状況(平成5年7月～平成6年3月)

1631人=16,310,000円

母校70周年迫る!!

— 実行委員会活動開始 —

同窓生の皆さん、母校秦野高校70周年が平成8年に迫ってまいりました。同窓会本部では一昨年より70周年記念実行委員会を組織し、記念事業の内容を検討してまいりましたが、以下はその概略です。8月に開催されます総会の審議を経た後、募金が始まります。母校発展のため何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

募金目標額 2,500万円
—□ 2,000円

1 記念事業

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| (1) 母校の要請に応ずる事業 | 1,250万円 |
| | { 緞帳…550万円(既に設置) } |
| | { その他…700万円 } |
| (2) 同窓会林記念碑建立 | 300万円 |
| (3) 同窓会林整備 | 100万円 |
| (4) 記念品 | 200万円 |
| (5) 式典 | 100万円 |
| (6) その他(資料収集、会員名簿発行、支部育成費等) | 550万円 |

2 事業別委員会

- (1) 施設整備委員会
- (2) 同窓会林記念碑委員会
- (3) 造林整備委員会
- (4) 会員名簿委員会
- (5) 資料収集委員会
- (6) 会計委員会
- (7) 式典委員会
- (8) 会計監査

募金期間

**平成6年8月～
平成8年8月**

郵便振替口座

00120-8-22689

(平成6年5月より上記番号に変わりました)

ごあいさつ

母校の発展を願いつつ

同窓会々長 小泉 功



同窓会の皆様 益々お元気で各分野に亘り、ご活躍のことと心からお慶び申し上げます。

さて、小生昨年の総会で高橋会長の後を受け、会長の任を勤めさせて頂くことになりました。何分浅学非才の身でありますので、皆様のご協力によりその任を全うしたいと念じております。

母校は現在学区内での評価も高く、学力、体育の面に優れ、質実剛健の校風も見事に引継がれ、誠にたのもしく成長しております。それひとえに、先生方の卓越した

教育信念の確かさと熱意に負う処が大きく、生徒達のひたむきな向上心と共に醸成されたものであると思ひます。

今や、卒業生も一万七千余名となり、県内にも万余名が在住し、助けあい、連繋し合つて活躍されておることは同窓の一人として誠にたのもしく思ひます。

長い伝統のある同窓会にあつては規約や、運用の点で、時代に合わぬ面もあり、過去三年余をかけて規約検討委員会にて検討されて参りました。終身会費制、幹事制度の見直し等がそれでありませう。

今後とも引続き研究しつつ會員の参加が増える様な努力をして参りたいと思つております。

広陵も三号を発刊することが出来ましたが、年一回の発刊では

意とする情報等も充分でない点もあり、用紙、印刷等にも注文をききますが、限られた予算の中で作業であり、ご期待に添ひえない点も多々あると思ひますが、會員の唯一の情報機関の使命を思い、役員一同懸命に努力しております。

平成八年度は創立七十周年に当りますが、今までに、小委員会、役員会、実行委員会を議を経て、

会長退任にあたり、奈珂中の思い出

上村相模先生いろいろと代行いただき有難う

前同窓会々長



病弱だった小学生の頃、母は徒歩以外交通手段のなかつた奈珂中を進学先を選び私を通学させました。

時には風雪に堪えながらの一里

着々準備をされてきました。六年度絵巻に計り、具体的募金活動に入りますが趣意書をご覧の上目標達成にご協力下さい。今回は二千万円の手当が計上されておる時、どうしても奈珂中で共に学んだあの頃を懐しく回想してしまふのです。

の奈珂中にあつては抜群と言つても過言ではなく、素晴らしく光輝していた事を記憶しております。お二人の現在ある姿を思い浮べたあの頃を懐しく回想してしまふのです。

高橋 徳 治

にも及ぶ徒歩通学となりましたがこの体験をしたことが私にとって何よりの宝であつたと思つてなりません。

現在、産婦人科医の中島政元博士やサンエーブ株式会社・須山喜一会長の諸氏も、この山道をもに歩いた仲間でおのずと親好も深まるところとなつたのです。

両名の学習意欲や成績は、当時

平成元年、米国オレゴン大学友会名誉会長の役職を受け、歯科医業は子供に譲り、同窓会々長の役務に就きました。

母校への恩返しが出来れば等と「立派な考えをめぐらしていたのですが、同窓会財源の安定確保を模索する中、計らずも体調を崩す事になり、同窓会の仕事を急拠上村相模先生に代行をお願い致しました。同窓会の皆様にご迷惑をおかけしました事は、まことに汗顔の至りであります。

退任に際し、小泉新会長の御活躍と母校の発展をお祈り致します。

ごあいさつ

「質実剛健」

学校長 実方 正



秦野高等学校同窓会が、明治、大正、昭和の激動の百有余年を経た今、小泉現会長をはじめとする本部、支部役員ならびに、校内幹事のご尽力と、会員の皆様のご理解と協力により、有意義な活動を活発に実施している事を見出し、伝統と歴史の重みを改めて感じている所です。時に恩師を囲み、過ぎし日を偲び、母校の行く末を語り、母校の校歌に終る会こそ人生の憩いの一瞬であり、居心地のよいオアシスに立ち寄った思いになるのではないのでしょうか。同窓会の更なる発展をと願う所以でもあ

ります。申し遅れましたが、河合

前校長の勇退に伴ない、本年四月、秦野高等学校に赴任して参りました。山青く、水清き風土、整った学習環境に感銘いたしました。垣間見る授業風景、陸上競技大会や放課後の部活動で見せる真面目な努力する生徒の姿、物事に真摯に取り組む顔は、新鮮で輝やいてるように思えました。「質実剛健」が秦野の校訓であり校風である事を、昭和六十一年発行の秦野高等学校史で知るにつけ、真面目・努力・真摯な取組みと言ったものは、正に現代版「質実剛健」と心に銘記いたしました。長い歴史と伝統に育まれた校風を、草創百年、学校創立七十年に向けて、一層広め、深める事も大切な役割ではないかと考えております。かねてより、

母校に対し、厚い温情とご支援を賜り感謝している所ですが、秦野の発展のため、宜しくお願いいたします。同窓会、ならびに秦野卒業の諸先輩のご活躍をご祈念させていただきます。

退職にあたって

前校長 河合洋三



今、三十七年間の教職を去るにあたり思いますことは、私の人生最大の「上がり」が秦野高校であったことは、私にとりこの上ない最高の幸せな「上がり」であったことと深く感謝しています。特に同窓会の皆様からいつも深いご理解と温かいご支援を賜りました。ここに厚く御礼申し上げます。

ました。入学試験制度も大きく変わろうとしています。こういう時こそ教育における「流行」とは何か、「不易」とは何かを改めて検証し、地域社会から大きな期待を寄せられている本校のとるべき道は何かを、正しく見極めるべき時であると思います。二年前、本校に着任し校史を読んで驚いたことは、明治十九年に設立された本校の前身である「三郡共立学校」の英語の授業内容に「英会話」があったことです。当時としては、恐らく他に類を見ない先見性であったと思います。百年以上経った今日においても、時代の要請に十分に応えられる先見であります。本校はまさに当時の「新構想」の学校と言えましょう。この進取の精神は、今も脈々と受け継がれていると思います。先見性をもって果敢に未来に挑戦する気概を持つことも、本校の伝統ではないかと思えます。会員の皆様のご多幸を心から祈念致します。

日本獣医畜産大学 学長 杉山公宏(高5回)

獣医畜産学部 獣医学科・畜産学科・畜産食品工学科
大学院 獣医学研究科獣医学専攻博士課程

〒180 東京都武蔵野市境南町1-7-1

TEL 0422-31-4151

FAX 0422-33-2094

支部

だより

茅ヶ崎支部

春醋の時、当支部長金子君より、母校七十周年を迎えるに当り、何か書けとの依頼がありました。光陰矢の如しとか、思えば私事で恐縮ですが、母校五十周年記念のときは、名簿編集委員、六十周年の記念のときは、開校碑建設委員として、参加させていただいたことは、懐しく、またこのたび七十周年記念を迎えるに当り、名簿委員長として、老骨に鞭打って参加する事が出来たことは、大変光栄と感謝しております。

昔徒歩で、自転車、バスで、通学した広畑ヶ丘の校舎に付むとき、眼前に阿夫利の嶺に啓示と栄光を思うとき、卒業生の皆さんも、

大いなる希望が心に湧いてくると思っています。

さて茅ヶ崎支部の皆さん、今後これを機会に、支部強化再建のため又平成八年十月母校創立七十周年記念事業にも御賛同と御協力をお願いして母校発展のため尽力を致しましょう。

最後に六十周年記念の時建立した前田夕暮の歌を皆さんに捧げます

まなかひに朝の富士あり天雲を
つらぬきて赤くそびえたるかも

関野 勇(中9回)

平塚支部

月日の立つのは、早いもので、支部会員の集い」を始めて昨年の10月で、6回目の集いとなりました。天候にも恵まれました第一部は、平塚美術館で開催中の「湘南の文学と美術」展の見学でした。

この展覧会は湘南の地に縁の有る、明治以降の画家や文学者たち

の、二宮から葉山までの湘南を描いた絵画と、原稿・日記・書簡・図書などの文学資料約370点、絵画約80点が展示されたもので湘南の風土が生んだ文学・美術に親しんだり触れたりして、参加者は有意義な一時を過ごされたと思います。

第二部の会場は「天清」なのでマイクロバスで移動しました。秦野高校同窓会長小泉功氏が来賓として参加されましたので、挨拶で母校で開催されました総会の概要を伺うことが出来ました。

主な事柄は、規約の一部改正で会費が終身会費として壹万円となったこと・幹事の見直しで、支部や職域推薦が加えられたこと。

さらに役員改選では、平塚関係は副会長としてご努力戴いた荒井権八氏の退任・伊藤昌治氏が副会長に選任されました。尚会計監査の小西登氏は再選となりました。

次回(平成6年度)の総会開催地は、平塚に決まりました。以上の様な報告の後には、懇親会

に移りました。和気藹々の歓談で再会を約して解散となりました。山川彰藏(中17回)

東京支部

早いもので秦高同窓会東京支部(別称 東京広畑会)が一九八四年(昭和五十九年)に発足してから丁度十年となります。

同窓会支部として正式に発足する二年程前から今はすでにじき青木基君(中7小生と同期)等と数人で設立世話人会を、更に範囲を広げて「在京広畑会有志の集い」等を開きながら準備をしてきたのですが、この中で大きな特色は

東京都内在住のみでなく東京とその近郊更には広く首都圏に在勤又は在住する本校卒業生の入会希望者を会員とした点であります。これは申し上げるまでもなくそれぞれの仕事などを通じて関係する業界の情報を得たり交友を通じて仕事を充実する機会が得られること

信用  実績

土地・建物・売買・仲介・管理

三 宝 商 事 (株)

【神奈川県知事(10)第2794号】 不動産部

小田急不動産ハウネットワーク会員

本 社 秦野駅前三宝ビル1F ☎ (0463)82-3311(代)
FAX (0463)81-2378
茨沢支店 秦野市柳町2-1-18 ☎ (0463)87-3377(代)
代表取締役 内 藤 優 (高第6回卒)

を考えたからです。

本校も二年後には創立七十周年を迎えて歴代の校長、教職員のご御努力は勿論多くの卒業生の支援もあつて県内でも有数の高校となり、そして卒業生も国家や自治体の議員や大学教授、会社の役員社長又は自分で会社を興したり、医療や情報関係等々多方面で立派な働きをしておられるのです。

東京支部も約三百名の会員を有していますが、暫くの間新卒業生の会員募集も途絶えておりますので、この五月二十四日に総会を開催して新しい会員も迎えたいと思つています。

さて小生は東京広畑会（東京支部）設立以来十年間会長（支部長）をつとめて参りましたが、サンウエーブ㈱も昨年相談役となり第一線を退きましたのでこのたびの総会で会長（支部長）を辞したい旨幹事諸君に申しましたがこの一期だけはとのことで留任の予定です。 須山喜一（中7回）

秦野支部

秦野支部は現在同窓会員数が約六千人で毎年卒業する者が自動的に会員となるので年々その数は増加することになる。

この支部会員を繋ぐものは会誌「広陵」である。それ以外は支部事業として視察研修を実施しているものの参加は僅か五十名程度で会員相互のコミュニケーション、親睦の機会としては限られたものとなつておりその顔ぶれは固定化傾向にある。

今年から終身会費制に変わったことから従来本部からの会費徴収額で算定された支部育成費がストツプとなり支部活動費は「広陵」の郵送料の額のみとなり収入が激減した。これでは支部事業の拡充は望めそうもない。

それに加え地区委員として「広陵」の配布（従来は会費の徴収も同時に行つていた）を依頼してい

る役員の辞退者が続出し後任者を発掘することに困難を生じている。財政面と役員選出面から支部存続に危機感を持つ一人である。なんとか活性化を図りたいとその対策を模索しているが名案が見つからないで苦慮している。

本年は六年前に委嘱した一七〇名の役員の見直しをし名簿の改訂を行ない支部運営の刷新を考えているが果して思惑通りになるか？それに若い会員を含んだ行事の企画が要求されているが多難である。

榎本圭治（高2回）

伊勢原支部

去る4月23日平成5年度支部役員総会が、いつもお世話になってる駅南口・中華つくしで開催されました。

一、まず事業報告、会計報告が承認されました。なかでも、体育館落成、緞帳贈呈を記念し、母校で

- 火災保険
- 自動車保険
- 傷害保険
- （補償と貯蓄の）
- 各種積立型保険

日産火災海上保険(株)代理店 喜多総合保険事務所

代表 喜多 実(高3回)

自宅・事務所 神奈川県伊勢原市桜台1丁目15番14号
(〒259-11) TEL (0463) 93-1091
連絡 先日産火災 新宿東支社
TEL (03) 3204-6371(代表)

でお祝いに参りました。

喜多 実(高3回)

小田原支部

立派な体育館の完成に引き続き道
路の拡張に伴う素敵な正門、それ
に重厚な長い石造りの塀は校風に
ふさわしい調和のとれた環境が整
った感があります。生徒諸君も又
各方面に亘り活躍されていること
は西湘の地からも充分窺い知るこ
とが出来、実に喜ばしいことです。
これは学校長を中心に教師の皆様
と生徒間の心の通いに他なりません。

此度同期生(十二中卒)の柏木
文夫氏が多忙な公務から解放され
これからは時間的に余裕があるの
こととす。同氏は長い間教育畑
にあって特に昭和六十年七月から
八年二ヶ月の長期に亘り、小田原
市教育長として幾多の業績をあげ、
現在も尚同市の教育委員として活
躍して居られ、以前からも色々

ご協力を賜っておりますが丁度ご
の時期支部としては大変有難く、
又同氏は広沢副会長とも昵懇の間
柄でもあることも幸して七十周年
記念を二年後に控え同窓会活動を
通じ大いに才腕を振るって頂ける
ものと期待して居ります。

大分以前から現行学区制がひか
れている関係で秦野、伊勢原両市
周辺は将来に亘り同窓生は増え続
けますが残念乍ら西湘地域は後続
がありません。それだけに後れ馳
せ乍ら今を大事にし細部まで掘り
起すことをしなければなりません
が仲々実行の糸口が見出せず大事
な時間だけ過ぎてしまいました。

現行制度のま、では後続は絶た
れていることを十分に念頭に置き
乍ら秦野、伊勢原両支部のご指導
を得、今の同窓生の皆様を大事に
して行きたいと思っております。

柳田敏雄(中12回)

秦高在職中の思い出

秦野高校の思い出

貴田盛彦

(昭和23年〜昭和46年)

終戦後間もなく約二十二年半、
勤務させていただきました。当時
を回想しますと、校舎とはいえ、
木造平屋三棟、それに講堂、窓枠
無しの吹き通しの雨天体操場、実
にお粗末でした。

近年の進路状況も躍進著しく、
全国著名一三八〇高校・主要大学
合格者数一覽に掲載され、これに
勝る矜りなしと確信しております。

生徒諸君の多くは、下駄履き徒
歩通学で、自転車利用者は殆どな
く、戦後物資不足を物語っていま
した。大根駅・南平橋からも秦高
校舎、桜・プラタナスの木々等遠
望することができ、田圃、春・夏
には田螺、秋には蝗、学校周辺に
は人家という人家なく、人影疎ら
な境地に立ち働く人のみ、本当に
のんびりした田園風景で学問探求、
身体鍛錬には理想的環境でした。

秦野高校は創立以来久しく、男
子校で、殺風景どころか熱と力、
活気に満ち溢れた教育現場でした。
訓育、体育、部活動等、先生と生
徒一丸となって活躍目覚ましく、
北秦野学校造林、額に汗の下草刈
り作業、突然跳びだす兎追いの生
徒達の面影。県・関東駅伝大会出
場権獲得。甲子園野球神奈川県大
会準優勝等々。

長い勤務には照る日、曇る日、
雨の日、失策の日あり。私、多年
勤続成し果たし得たのは、諸先生
及び卒業生皆様のご信頼・ご援護
の賜物と心より感謝しております。

宴会と御食事・お気軽にどうぞ

中華つくし

伊勢原駅南口大通り

TEL 0463-95-0432

忘れ得ぬ

秦高時代

燃えた十三年間

角田新之助

(昭和37年〜50年)

◆三十七年四月愛車のホンダドリムで凸凹の薬師坂で自転車を押して通学する生徒を横に追い越す。
 ◆眼前に広畑が丘の麦・たばこ・ピーナツ畑。帰路は夕映えの富士山や弘法山を背景に急勾配の穴の上經由砂利道の秦野県道。県下と誇れる学校環境であった。
 ◆現在のグラウンド部分に木造校舎の教室棟・プラタナス並木の手前に雨天操場・桜並木の県道沿いの講堂が配置され、現在の校舎の基礎工事が進められていた。各学年女子が三、四名で一応共学の四クラス規模で教職員のともしく、教育理念の理解もすぐ得られ、生徒の気質は質実剛健。
 ◆生徒会活動の中心は北相陸上・

野球の応援練習(四〇度近いグラウンドで上着をつけ汗だく。団員による現在のいじめ?)・秋の文化祭・体育祭(三日間で広畑祭)を一学期末より夏休み中にかけて企画・準備、前々日ともなれば、教師の知らぬ間に徹夜宿泊による熱

の入れようで、各団のマスケット飯装行列・ブラス・演劇・発表等は地域の方より好評。校内意見発表会も学園紛争の影響で本校も例外でなく、指導・説得も大変。

◆部活動の陸上では飯山君の広畑賞(大根小・中学校、東海大グラウンドでの校内練習)。合宿は校内で隋いつき、教室が宿泊所であった。

◆社会部は貸切バスで新入生歓迎巡検(部員によるガイドで一日郷土を知る良い機会だった。夏は信州・甲府方面の二泊三日の合宿や遺跡発掘調査に参加。山岳部のインターハイ(鳥取・大山)・関東大会(西丹沢)出場。今となっては良き思い出ばかりです。

学校の最大の教育課題が大学進学準備教育だった頃のある日、ドリムをふんでコンクリートの渡りに敷かれた「すのこ」を踏み抜き、転倒骨折したことがあった。痛みでしばらく立ち上がれないでいた。一部始終を目撃した生徒の口から、この事がまたたく間に私のHRと担当するクラスに伝わり、見舞いと称して早速代表が顔を出してくれた。生徒達の心遣いに家族はい

松葉杖の思い出

鷲尾照夫

(昭和38年〜56年)

「男がこのくらいのことでは授業を休めるか」「期待を裏切つて悪いが一日も休まんぞ」「いいか、わかったら教科書、問題集、ノートを開け」授業と授業のインターバルは同じ階にあった数学準備室で休息をとり、言葉通り四十日近く松葉杖の授業をやり通した。かつこ良く宣った手前、後には引けなかったためだろうと思うがこの事が思いがけぬ成果をもたらした。学習意欲の向上である。今流に申せば自己教育力の向上という事になろうか、それだけ茶目っ気もユーモアも持ち合わせた能力の高い良い生徒達だったともいえる。秦高には十八年お世話になり辞して十四年になる。

私は「せめて、もう一日二日してからにしたら」と言う家族の言葉を振り切つて、二日後松葉杖で出勤した。当てが外れたのは生徒達、中でも偵察者の狼狽ぶりがひどくおかしかった。

「いいかげんに静かにしろ」

一赤ちゃんからお年寄りまでの医療をめざす一

くすり十全堂

本店/秦野市本町2丁目5番6号
 —花みずき通り第一生命前—
 ☎0463(81)0031(代)
 代表取締役 佐野 友保(高・第18回卒)

下海	大東	機大	前大	店前	☎0463(77)3271
三和	三和	大前	大前	店前	☎0463(78)2031
三和	三和	大前	大前	店前	☎0463(78)6231
三和	三和	大前	大前	店前	☎0463(87)1560
三和	三和	大前	大前	店前	☎0463(83)0030
三和	三和	大前	大前	店前	☎0463(83)3931
三和	三和	大前	大前	店前	☎0463(83)4031
三和	三和	大前	大前	店前	☎0463(78)3221
三和	三和	大前	大前	店前	☎0463(84)7731

秦中・秦高に想う

軍事教練の

想い出

杉山健(中7回)

私が入学したのは昭和五年であ

る。当時母校は金目村外二十六町
村学校組合立で奈珂中と云う名で
あった。だから六十余年前の昔の
思い出を話す事になる。不景気の
さかりで定員一〇〇名に対し二次
募集をしてやっと定員をみたした
ようだ。

私にとって在学中の五年間は(当
時は五年制)最良の時期だったと
思う。特に諸先生の御指導よろし
きを得て現役で当時の師範学校と
官立横浜高商に合格する事が出来
た。軍国主義華かなりし頃で教練
と云う学科があった。その時は全
員奈珂中の記事のついた学帽をか
ぶり、ゲートルをつけ鉄砲をもつ
て校庭に整列するのである。戸外
での授業はあるき方、上官に対す
る敬礼の仕方等等である。五年にな
ると他の中学校と連合して野外演

習があった。鉄砲をもって野原を
はしりまわるのである。楽しい青
春のハケ口であった。いろいろの
想い出の内、この軍事教練が脳裏
にこびりついている。

戦時色のなかで

草山義典(中17回)

昭和二十年三月卒業の私達です。
戦時下のこと、すでに果立って行
った人もあり、五年の歲月の流れ
には、時代の背負っていた暗い影

も見え、ペンを走らせる時間から
銃やシャベル、工場での機械に触
れる時間へと移って行く。広畑が
丘の学び舎で、万葉の校を口ずさ
み、プラタナスの木陰で語り合
う姿は、後半次第に消えて、時勢に
応え勤労の場へと変る。今、胸に
満ちて、校庭の一木一草に想いを
馳せるのも秘めた情感の流れであ
ろう。

想えば、生物解剖の時間に必要
なバツタ捕りに夢中になって遊ん

だこと。丹沢よりの炭運びに坂を
転がって炭は粉々。造林作業の草
刈で、うっかり顔を見せた野兎の
あわて顔。富士の裾野での夜間演
習。油に染みての工場作業。思い
出は尽きない。先生方の温情に育
まれ、大恩に謝しながら、きらめ
く汗と分ち合う涙の青春時代で
あった。戦死した友のありし姿を
偲ぶ心は語る言葉とてない。同窓
の年経ての集いは多く、心を寄せ
て語る時間は尽きない。幸あれ。

秦高に想う!!

畑野公保(高7回)

最近秦高には年々3回のべ
すで顔を出すようになった。平成
八年開催の秦高創立七周年記念
事業に伊勢原支部役員の一として
実行委員に委嘱された事と、柔
道部のOBとして道場に顔を出す
のと、この二点によってである。

昭和三十年に卒業してから長い間
ご無沙汰をし、それこそ久方振り

各種工作機械・自動専用機・自動組立機・汎用工作機械



株式会社 三陽商會

代表取締役 金子 尚 (中12回)

〒251 藤沢市城南4-10-35

0466-34-1811(代)
FAX. 0466-34-1813

に母校に伺った時は何ともいえぬ感慨を覚えた。校舎も木造から鉄筋に、そしてその位置も、グラウンドの場所も変っていたが、その雰囲気は数十年前に過ごした青春時代そのものであった。その母校も創立七十周年をもうすぐ迎えようとしている。この歴史ある我が母校に想いを至しよりよき明日に向けてはばきたいものである。OB諸氏よ、一度是非母校に来たれ、そしてそのふところに抱かれよ……こう願う一人である。

文武両道

大川 要(高17回)

「僕でもできますか」。身長一メートル五四センチ、体重四六キロだった私が入部志望したのは、モサの集まる柔道部でした。ゴワゴワした新調の柔道着を身につけた練習の初日、準備体操、受け身等、一通りの練習を終えた後の乱取り、「大川、来い」、いの一、番を声をか

けられたのは、故白井先生でした。百キロも越すかと思われる体を仰向けに乗せられただけで、息も話まり身動きできず、ただ手と足をバタバタ、三十二年経った今でも鮮明に思い出されます。白井先生はその後他校へ赴任されましたが、入部当時の鮮烈な印象と、同じ顧問の込山先生の「大川よ、文武両道を目指せ」の叱咤に二度の骨折をしながら、何とか三年間在籍できています。今は一七〇センチ、七〇キロの体です。

この頃思うこと

武井敏一(高27回)

広陵の原稿を書いてよという依頼があり、卒業してまだ何年もたっていないと思っていたが、早いもので十九年もたつてしまった。在学中のことを思い出すと、毎日、勉強はさておき遊んだり部活をしたりであったという間に三年間

が過ぎてしまった。また、修学旅行で一週間を駆け北北海道に行って、旅館やバスの中でさわいんだり、歌をうたったり大変楽しい思い出です。三年という人生の中では短かいものかもしれませんが、変化に富んだ有意義な時代であると思います。月日のたつのは早いものだとつくづく思う今日この頃です。思い出すままに、ペンをとりましたが、いつまでたっても、秦高の時のことはついこの間のように、いろいろなことが頭の中に浮かんでいきます。

秦高に育てられて

相原のぞみ(高37回)

高校の修学旅行は北海道だった。秦高の修学旅行は十年に一回北海道だという。そんな縁もあってか、ついこの三月まで三年間、北海道で高校の

教員をする機会に恵まれた。そこで生徒会顧問として働いていたが、ふと比較すると、秦高の生徒会は実に仲がよく、また能動的に活動する活力あふれる人たちの集まりだった。役員でもない私のような生徒も自由に出入りできる、アットホームな雰囲気があった。あのパワーや自由なおおらかさは、秦高の空気そのものだったのではないか。そして今、こんなに自由でのびやかでいられる私自身の土台も、秦高によってつくれたものだろうか。一番感受性豊かな高校生の時間を、包容力大きな秦高で過ごせたことに、あらためて今感謝している。

生徒会室といえ、私達の時分から、出入り自由で開放的、民主的を装いながら仁侯路線を突っ走る、そんな愛すべき「胡散臭さ」を感じさせるカンファテーブル・エリアでした。(I)

普通車・自動二輪車・大特車



DRIVING SCHOOL

運転免許!

公認

荒井自動車学校

戸田校

花水校

伊勢原市下落合303-11
TEL 0463-94-6601

平塚市長持310
TEL 0463-31-1461

寸描 **母校から** 進学カルテ

- ▷ 進学希望ますます増える—99.8%— ◁
- ▷ 国公立・理系の健闘目立つ ◁
- ▷ 女子、短大進学者増 ◁

進路指導部 藤城頼子

今春の卒業生は四三五人。昨年より六三人少なくなっています。これはいわゆる「へびたま」が解消され、一〇クラス規模に戻ったことに加えて、1クラスの定員も減少してきたためです。その分学区外の高校に進む生徒も多く、色々な意味で今までと違うところもあったようです。この学年は入学時男女がちょうど半々でしたがこれもその特徴のひとつです。

この傾向は私立大でもいえることと、合格率を比べるとやはり理系の方が上になっています。私立大は、昨年に引き続き志願者数が減る傾向にあります。その分、少数激戦の形になっているともいわれます。その中で本校は、上智大・理科大・早稲田大など文系・理系ともによい結果を残すことができました。

今年も志願者が増え、センター試験受験者は過去最多となりました。また、地元志向が強まっているといわれますが、本校でも女子を中心に、家庭の負担を考慮して、通学可能な範囲に学校の目標を絞る生徒が多く見られました。ただ、センター試験が今年も難しかったため、こうした生徒にはなかなか厳しいものがあったようです。結果として二十三名が国公立大に合格、十七名が入学しました。昨年同様理系がおおいに健闘して、北海道大・横浜国大をはじめ、合格者の2/3を理系が占めています。

この傾向は私立大でもいえることと、合格率を比べるとやはり理系の方が上になっています。私立大は、昨年に引き続き志願者数が減る傾向にあります。その分、少数激戦の形になっているともいわれます。その中で本校は、上智大・理科大・早稲田大など文系・理系ともによい結果を残すことができました。

'94年度卒業生進路状況 人数()内は%

	文		理		学年全体		
	男	女	男	女	男	女	計
大 学	50 (46)	69 (37)	60 (55)	19 (61)	110 (50)	87 (40)	197 (45)
短 大	0	75 (40)	0	3 (10)	0	78 (36)	78 (18)
専 門	4	10	1	2	5	12	17 (4)
就 職	0	1	0	0	0	1	1
浪 人	52 (48)	30 (16)	49 (44)	7 (22)	101 (46)	37 (17)	138 (32)
卒業生数	108	186	110	31	218	217	435

学しました。専門学校への進学者は、昨年と同数の十七名でした。看護・医療系がその中心ですが、美容・服飾など各自が目的に沿って、堅実に選択しています。

今年の一大きな特徴は、就職が一名だけだったということです。この生徒の場合、地元企業に勤めよう心から願っております。

生涯学び続けたいという意欲も強く抱えているようです。今春の進路状況は以上の通りです。皆三年間泰高生らしく、のびのびと、活発に過ごしてきました。これからもまた、それぞれの進路に従って益々力を発揮し、同窓会の皆様同様、社会で活躍されるよう心から願っております。

1994年 大学・短大合格者延数

大学名		現	浪	大学名		現	浪	大学名		現	浪		
国公立大学(4年)				千 葉 工 業				短 期 大 学					
北 海	道 玉	2	1	千 高	千 穂			筑 波	大 泉	医 農	技 業	1	1
埼 玉	葉 語	1	1	中 帝	京 家	7		宮 城	奈 川	大 農	業 榮	1	1
東 京	外 語	1	1	東 帝	京 家	20	20	神 和	泉 短	川 大	期 学	3	3
東 京	農 工	2	1	東 京	家 經	3	1	相 神	東 學	院 短	女 期	4	4
東 京	都 立	1	1	東 京	造 政	1	1	関 模	東 學	大 院	女 大	12	6
東 京	商 学	1	2	東 京	形 業	2	2	湘 北	山 学	短 短	期 期	3	3
東 京	一 橋	1	1	東 京	理 農	9	9	青 陵	美 林	学 院	短 短	12	12
電 気	通 信	4	1	日 東	本 海	2	6	学 習	山 学	院 短	女 期	5	5
横 濱	国 立	3	3	東 東	日 本	25	21	共 済	沢 女	子 子	短 短	2	2
信 州	立 州	1	1	東 東	京 家	21	21	駒 駒	美 和	子 子	短 短	2	2
静 岡	戸 山	3	1	東 東	京 電	2	1	昭 和	沢 能	子 子	短 短	5	4
富 京	都 女	1	1	東 東	京 業	3	3	産 能	徳 短	子 子	大 期	1	1
群 馬	立 科	1	2	東 二	松 学	2	2	大 妻	女 子	大 期	短 大	1	1
横 濱	市 立	2	2	日 日	本 女	5	1	成 城	成 徳	大 期	短 大	15	4
都 立	学 技	1	1	日 武	武 蔵	12	14	東 京	京 成	大 期	短 大	1	3
私立大学(4年)				武 蔵 工 業				東 京 大 学					
青 山	学 院	16	5	武 蔵	野 美	9	3	東 京	立 正	大 女	短 大	1	5
桜 美	林 院	1	1	武 蔵	治 学	1	9	東 京	英 大	女 子	短 大	2	2
学 共	立 女	1	2	明 治	星 正	3	2	東 京	洋 大	学 子	短 大	3	3
杏 林	子 林	1	1	立 早	稻 文	9	6	東 京	洋 大	学 子	短 大	1	1
香 應	義 塾	1	4	早 大	東 文	2	4	東 京	日 本	体 育	大 体	1	1
慶 国	学 士	3	5	拓 多	摩 美	1	1	東 京	京 文	化 大	短 大	1	2
国 美	践 女	5	7	多 文	化 女	2	2	東 京	邦 大	大 医	学 技	2	2
東 亞	北 福	1	1	立 和	京 工	2	2	東 京	明 治	大 短	期 学	4	4
大 北	妻 女	1	4	立 東	京 工	2	2	上 智	大 野	女 子	短 大	4	4
共 立	薬 学	3	4	東 明	神 工	3	3	文 教	蔵 大	女 子	短 大	5	4
芝 浦	工 女	1	6	神 奈	川 工	10	1	武 蔵	京 陰	女 子	短 大	4	6
上 和	女 学	3	4	東 相	模 女	3	2	松 帝	京 京	子 子	短 大	3	2
昭 成	成 工	10	4	相 神	奈 学	1	1	帝 東	京 京	家 政	学 学	1	2
成 成	工 専	3	1	関 湘	東 南	20	19	東 東	京 布	学 学	大 女	1	1
工 専	又 園	2	2	産 同	志 社	6	2	調 東	海 大	医 技	大 技	1	1
桐 独	文 学	2	3	龍 日	本 福	1	1	国 公 立		23	14		
文 学	協 教	25	9	京 立	都 産	1	1	私 立		380	307		
協 教	教 授	3	3	北 立	命 館	1	1	短 期		148	0		
協 教	教 授	1	2			1	6	合 計		551	321		
協 教	教 授	4	5			1	1	総 計		872			

男子バスケットボール部

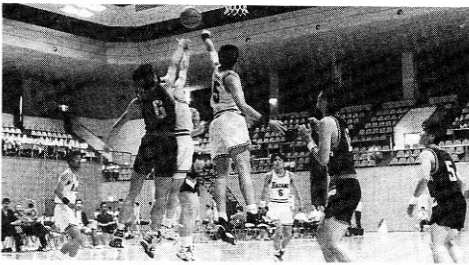
接戦を乗り切って(県大会4位) 2年連続 関東大会出場(3回目)

顧問 高橋 智之

こんにちは

昨年度、関東大会を経験したメンバーが4人残っている今年のチームは、新チームスタート時から関東大会出場を目標に頑張ってきた。4月に行われた地区予選を1位で乗り切り、4月29日からの県大会に臨んだ。しかし、風邪やケガがレギュラーメンバーに起こり多少不安材料をかかえての大会となった。1回戦上郷高を74対52と控えメンバーの活躍もあった勝ち、2回戦多摩高を71対65で逆転勝ちしチームに勢いがついた。

5月3日BEST8をかけて、第1シードの横浜商大高と戦い、接戦の中、84対71で敗り、同日ダブルヘッダーでBEST4(関東大会出場)を第2シードの桐光学園高と争う事になった。後半2点差まで追いつかれたが68対61で振り切り、関東大会出場を2年連続で決めることが出来た。5月4日の準決勝は、優勝校湘南工大高に113対73、5月5日3位決定戦、藤沢商業に90対58と、上位3校との力の差を実感する結果となった。今年のチームは身体が小さく、相手に大差で勝つという内容ではなく、接戦の中でも、あきらめずに粘って勝ち抜いてきた。一番苦しい、後半に抜けるからの体力、集中力、正確さが、持続できるチームである。それも、一年間苦しい練習をこなし、一年間苦しい練習をこなし、できた成果だと思ふ。今大会、関東大会出場5校中、県立高校は秦



栃木県宇都宮市

野高のみである。私立高が、チームを強化してきている中、県立高校が、食い込むのは大変難しくなっている。そういう意味でも今回の出場は価値があるのではないかと。今年の関東大会では、2回戦(BEST8)で終わってしまったので、今回は、3回戦以上を目指して頑張りたいと思います。

関東大会 6月4日・5日

無線部 開局30周年

顧問 武井 達夫

かつては「王者の趣味」と言われた「アマチュア無線」も、県下の高校レベルの活動は、だいぶ下火になってしまいました。特にここ2・3年で廃部に追い込まれた高校もかなり上っています。

本校も6名の部員しか居りませんが、発信した人からは、「秦高の無線部は、毎日よく電波を出していますね。大所帯ですか。」とお声をいただく事も多いです。

今時、時代遅れの真空管式無線機にしがみついている無線運用や、ローテーターも持たぬアンテナで四苦八苦しながらの発信をする生徒の姿に、我ながら非力さを感じると共に、設備的に恵まれた「新設高校・無線部」を恨めしく思う事もありました。凋落傾向にある文化部では学校に多くを望むことも叶いませんから、これも致し方なしとの一応の覚悟を決めては



ますが・・・

本年は「秦野高校アマチュア無線部・開局30周年」ということもあり、記念の「QSLカード」も製作いたしました。

まだ三百枚程度は学校にありまして、郵送希望の方は、80円切手同封の上、秦野高校無線部宛へお申し込み下さい。

また、無線部では「無線部OB名簿」の作成を計画しております。OBの方、住所・氏名・卒業期・電話番号・コールサイン等をご記入の上、秦野高校無線部へ連絡を

母校から

陸上部 野呂・原田全国大会で活躍

顧問 内藤 篤史

インターハイ連続出場を達成し続けていた我が部が、昨年は出場できなかったものの、今年は見事な返り咲きをした。五月の県総体では、新入戦四〇〇mで二位に入賞している野呂華子が、常に三〇〇mまで全力で走り切るような積極的な走り方で四位に入賞、その勢いで前年の県総体で7位と苦杯した原田美和が八〇〇m、三〇〇〇m、二種目において二位に入賞、関東大会を決めた。関東大会では波に乗る野呂が、決勝で快走し二位、原田は、三〇〇〇mでは力尽きたが、八〇〇mで四位に入賞し、二人共インターハイ出場を獲得した。宇都宮インターハイでは健闘したが野呂が準決で、原田が予選落ちし

六月の県選手権では、原田が出場し、一五〇〇mで県記録に迫る勢いで二位となり十月の国体を手中に収めた。又、女子四×四〇〇mRでは(野呂・原田・土屋・安藤・秦高初)の四分を切る記録で二位入賞、高初選手権出場となる。歴史ある北相大会においては、各種目において入賞し初の女子総合優勝を獲得した。新人戦では、夏からメキメキと力をつけてきた土屋那弥が素晴らしいスタートを見せ二〇〇mで五位、四×一〇〇〇mRでは(今井・土屋・安藤・保木本)、五位に入賞した。徳島県で行われた国体では、久々の全国大会入賞を期待した原田が、一五〇〇mの子選を順調に通過し決勝進出となり、九人の集団で進行し八位入賞確実かと思われたが、ラスト三〇〇mからのペースアップに反応できず、

惜しい九位となった。

秋の風物誌駅伝においては、男子はエース不在もあって十九位、女子は全員が力を出し切り、七年連続の三位入賞となり関東大会へ出場した。本年も新入部員加入のもと、走るこへの情熱を、おれずし頑張ります。応援よろしくお願い致します。

野呂選手



原田選手



十文字と弓道(弓道部)

顧問 武田 素晴

今年の三年生は昨年の秋から部長の鹿子島君を中心に、目立った活躍をしてきました。明治神宮での関東個人選抜大会に鹿子島君、古幡君の二名が県代表として出場しました。新人大会では鹿子島君、古幡君、熊沢君のチームが団体四位、古幡君が個人優勝、女子でも高梨さんが個人五位、原川さんが六位に入賞しました。

今年の春になって、力を十分発揮できなかったのが、残念ですが、関東大会で山口君、大野君、田添君のチームが四位となり水戸での関東大会に県代表として出場しました。総体の県予選会では女子の高梨さん、木村さん、原川さん、戸田さん、外館さんのチームが決勝リーグ戦に残り三位入賞を果たしました。そして、六月十九日の国体選手会の選考会で、男子の部で熊沢君、女子の部で高梨さんがそれぞれ県代表の選手に選ばれ、八月二十八日に千葉で行なわれる国体の関東ブロック大会に出ることが決まりました。

ところで、弓道という競技は他の選手よりも一本でも多く当てた人が勝つという、極めて単純な種目です。また弓を引くという動作も単純です。しかし、動かない的確実当に当るといふことは、高度な技術と、その上に充実した精神力とが伴わないとできません。ましてや高校生は弓道を始めて一年から二年の間にそれが要求されることとなります。その困難を克服できた人が立派な選手となります。

ただ、私は弓を引く生徒に最後に心に残して欲しいことは技術ではなく、十文字のバランスです。技術は基本であり大切です。しかし、物事に偏らない、釣り合いのとれた姿こそが弓道の美しい、そしてすばらしいところだということを忘れないで欲しいと思います。

高杉会だより

広四会(高校四期生同級会)

私たちは昭和二十二年四月に旧制県立秦野中学校に入学し、学制が変わりそのまま秦野高校に進んだ、同じ学び舎に八年間通った仲間である。この会は通算十回を数える。還暦と言う人生の節目に当たる年でもあり、参加者も五十名を超えた。(現在二百十一名)

御招きした当日の先生方五名も全員(青木年枝、貴田盛彦、杉山茂夫、露木三郎、沼野博)が元氣な懐い姿で出席された。五月十七日、十八日の二泊で熱海の関本ホテルで開催され、特に今回は初参加者が多く見られ、受付では顔と名前の確認に懐きさが加わって、会が開かれるまでの花道ともなった。セレモニーは特に変わったものではなかったが、開会前に物故者への黙禱が行われた。

テレビ朝日の事業局長を歴て退職した村川順君の名司会で会の幕が開かれた。始まって早々に各自の氏名・近況が紹介されると、皆の顔が少しづつ高校時代に戻って、恩師の方々も会員の出席簿との照合を行いながら目を細めておられた。和やかで懐しい空気が満ち、久しぶりの再会の宴に酔い、時のたつのを忘れた。

話題には事欠かない。恩師の綽名、出来事や符丁等が飛び出したり、子供の自慢や大病した事等、色々な話で各グループ盛り上がりを見せた。

お開きの節目は校歌合唱と再会の約束などであったが、会はなお盛んで、その後の事は思い出すこともできない。

翌日は皆すっきりして食事についていた。その折、永く秦野高校で教師だった青木君から七十周年記念事業の話があり、散会前の場を飾ってくれた。

記 幹事 陶山高義(高4)

高26回とレスリング!!

去る5月7日、平塚の青果市場特設リングで、「ユニオン・プロレス」主催のダイナマイト・シリールズ第5戦が開催された。

高校26回卒の高杉正彦選手が、メイン・イベントに登場する事もあって、久々に応援に出掛けてみた。大概、地元(平塚)付近で行なわれる高杉選手の試合には、同期の者が応援に来る。今回も会場で懐かしい顔を何人も見留めた。

試合はかつてのNWF世界ライト(ヘビー級)チャンピオン鶴見五郎選手とタッグを組んだ高杉正彦選手らが、挑戦者ホーデス・ミン選手らを見事なフル勝ちで退けている。

高校26回生が在学中に作り上げたプロレス同人誌「豆タンク」は、山本小鉄等、ヤマハブラザーズを中心とした情報誌で、試合や選手の取材に優れ、また酒井正明君の手による「表紙画」の精度に定評

があった事も幸いして、「東京スポーツ新聞」にも度々紹介された。全国に読者を持つ「豆タンク」

の文章部分が、経費の関係で秦野高校の生徒会室の輪転機で印刷されていたことを知る者は、当時の秦高生でも少なかっただろう。

この「豆タンク」の編集責任者が、高杉正彦君と酒井正明君であったのだが、高杉君は日本大学進学後、アメリカン・フットボールからレスリングへ転身、「国際プロレス」の選手としてデビュー。メキシコからの帰国後、覆面レスラー「ウルトラ・セアン」として「全日本プロレス」に登場、現在は「湘南高杉ジム」を経営しながら、「ユニオン」のマットに立つ。

記 武井達夫(高26)



記 武井達夫(高26)

各種引出物・鯉節・花かつお製造元

はせきん
株式会社 長谷川金本店

本店 〒254 平塚市千石河岸24-8 ☎(0463) 22-0112・22-0143
ショールーム 〒254 平塚市千石河岸25-3 ☎(0463) 22-0120

長谷川 崇(高第14回卒)

表紙スケッチ

「学校前通り」

横溝 英一

正門前の道路が改修された
あとも、以前からの桜の木は
何本が残っていた。

新しい街路樹も植えられて
いる。何十年もたつと、これ
も鬱蒼とした木々の並木道に
なるのだろう。

木のそだつのは意外に早い
から、或いはもう少し早く、
違った雰囲気「秦高前通り」
が見られるかもしれない。

※ご好評をいただいております横
溝先生の表紙画に、改修なった「学
校前通り」が登場致しました。

正門周辺の桜の木には、私自身
の思い出が一杯詰っていたもので
すから、複雑な心境で感慨もひと
しおです。

(I)

平成5年度

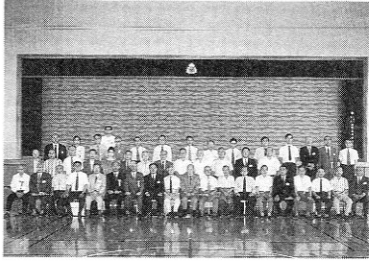
同窓会総会報告!!

新体育館完成・同窓会よりの緞
帳寄贈を記念し、去る8月29日に
総会が母校で開催されました。

規約改正(終身会費一万円等)、

70周年記念事業の件を含め、予定
された議事を終了後、新体育館と
寄贈緞帳が披露され、出席者47名
で記念撮影を行いました。

懇親会は、母校出身の期待の新
進歌手宮前直美さんのショーで華
やぎ、盛会裡におひらきとなりま
した。(伊勢原支部 喜多記)



物故者

慎んでお悔み申し上げます。

客員

小島イチ(技能) (S38~S59)
白井幸彦(社会) (S21~S38)

会員

- 中2 国島平三
- 中3 小宮寿郎
- 中3 武 常晴
- 中3 牧島芳男
- 中3 窪田 俊
- 中6 斉藤定夫
- 中6 陽 辰雄
- 中10 向笠恭一
- 高3 柏木善一
- 高3 高橋 猛
- 高9 高橋稔和
- 高16 川口信和
- 高40 小島 浩
- 高43 高橋良和

ご冥福をお祈り致します。

客員異動の

お知らせ

三月三十一日の河合洋三校長の
ご退職にはじまり、四月一日には
五名の先生方がご転出。今年もま
た秦高自慢の逸材が流失しました。

教育環境整備に尽力された千葉
昭事務局長は湘南養護学校へ、柳泉
祐子主査は大原高校へのご栄転。

また中村鶴生先生(英語)が湘
南高校通信制へ、市堀一夫先生(英
語)が厚木南高校へ、原範子先生
(社会)が富岡高校へとそれぞれご
栄転なされました。皆様のご健
康とご活躍をお祈り致します。

原稿をお寄せ下さい。

同期会 クラス会だより、近況報
告など、原稿を(七〇〇字以内で)
お寄せ下さい。

送付先〒257 秦野市下大槻一三三
秦野高等学校内

編集後記

生徒には計画性を説きながら、
いざ自分という時になると、赤面
してしまふ様な事がよくあります。

本号の編集も私の不馴れさから、
大勢の皆様のお手を煩わしてしま
いました。顔面は蒼白になったり、
「赤・青」よりどりでした。(I)

〒257 秦野市下大槻一三三番地

県立秦野高等学校内

秦野高校同窓会
会報委員会

電話(四六三)(77)一四二二一三

振替口座 〇〇二〇八二六八九

発行責任者 小泉 功(中16回)

編集責任者 石井郷二(高7回) 城所 全(高21回)

武井達夫(高26回)